

		社 協 名		木城町社会福祉協議会			
ボランティア体験プログラム名		ふれあい教室					
活動の目的やボランティア体験者の活動内容		聴覚障がい者の日常を知り理解を深めるとともに、コミュニケーション手段である手話学習を行った後、聴覚障がい者の方へ支援を行いながら手話ボランティア活動を体験することを目的に実施					活動分野
							福祉
実施日		1回目 令和5年 9月 25日 (月) 2回目 令和5年 11月 22日 (水) 予定					
活動場所(建物名等)		1回目 椎木児童館 2回目 高城児童館					
協力団体		木城手話サークル「もくもく」					
総数 (体験者数+協力者数)		1回目 14名 2回目 15名程度予定					29名
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
		23				3	26名
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
						3	3名
活動の様子など	<p>聴覚障がい者の方に来ていただき、日頃、使っている会話を交えながら手話を教えて頂いた。今回は子供達に手話を使ったなぞなぞや手話歌を教えて頂きました。</p> <p>また、聴覚障がいの方とコミュニケーションを図りながら、手話ボランティア活動の体験をした。</p>						

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。

※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。

※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名		木城町社会福祉協議会					
ボランティア体験プログラム名		ふれあい・いきいきサロン					
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	地域でボランティア活動を始めたい、またはボランティア活動に興味がある方を対象に「ふれあい・いきいきサロン」に参加して頂き、ボランティアの楽しさを体験してもらう						活動分野
							福祉
実施日	令和5年7月1日～令和5年9月30日の間に3回開催						
活動場所 (建物名等)	町地区サロン・中原地区サロン・川原地区サロン						
協力団体							
総 数 (体験者数+協力者数)	町地区サロン 19名 中原地区サロン 14名 川原地区サロン 15名					48名	
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
						42	42名
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
						6	6名
活動の様子など	<p>サロン推進員さんに協力をお願いし、日程と企画を一緒に考え、レクリエーションや体操の支援、昼食の準備等各地区の地域住民に協力を呼びかけ、参加してくださいました。また、新しい協力員さんも参加してくださいました。</p>						

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。

※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。

※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

		社 協 名		川南町社会福祉協議会			
ボランティア体験プログラム名		みんなで守ろう、伊倉浜海岸！					
活動の目的やボランティア体験者の活動内容	伊倉浜海岸の環境保全を目的として、浜の清掃活動を行う。						活動分野
							自然・環境
実施日	令和 5 年 7 月 29 日 (土)						
活動場所 (建物名等)	川南町伊倉浜海岸						
協力団体							
総 数 (体験者数+協力者数)							166名
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
	4	6	54	5	0	74	143名
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一 般	計
						23	23名
活動の様子など	<p>伊倉浜海岸は、アカウミガメが産卵のために上陸する貴重な海岸です。上陸の障害になる漂着物を少しでも減らすため、一斉清掃活動を行いました。多くの町民の方々が参加くださったおかげで、長い海岸の端まで清掃活動を行う事ができました。今年も、町内の中学生も大勢参加してくれて、活気のある清掃活動となりました。</p>						


※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。

※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。

※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名

都農町社会福祉協議会


ボランティア体験プログラム名		音声訳ボランティア						
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	視覚障がい者の方々に定期的に発行される、町週報をテープに録音し声のお便りをつくる音声訳グループ「ひなげし」のボランティア活動を体験した。						活動分野	
							福祉	
実施日	令和5年 7月 25日(火) ~ 7月 25日(火)							
活動場所 (建物名等)	都農町社会福祉協議会(都農町老人福祉館)							
協力団体	音声訳グループ「ひなげし」							
総 数 (体験者数+協力者数)							11名	
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
		5				3	8名	
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
						3	3名	
活動の様子など	<p>音声訳グループ「ひなげし」の会員からボランティアについての説明を受け、ボランティアの必要性を理解した上で参加した。</p> <p>児童は、漢字の読み仮名や文章の読み込みを入念に行い、録音をやりなおすといった真剣さが見られた。</p> <p>「ひなげし」の会員からは、文字の読み方や読むスピード等のアドバイスをを行い、児童とも楽しそうにコミュニケーションをとりながら活動していた。</p>							

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。

※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。

※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	都農町社会福祉協議会
-------	------------

ボランティア体験 プログラム名		折り紙で街を飾ろう					
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	町内福祉施設や学校へ赴き地域の方々とふれあうボランティア活動を行っている、都農町ふれあい会の会員と交流しながら折り紙作品を制作、町内の主要観光施設である都農駅と、道の駅つの2箇所に作品を展示して頂き、まちづくりの一環としてボランティアに参加していただいた。						活動分野
							まちづくり
実施日	令和5年 7月 26日(水) ~ 7月 26日(水)						
活動場所 (建物名等)	都農町社会福祉協議会(都農町老人福祉館)						
協力団体	都農町ふれあい会						
総 数 (体験者数+協力者数)							20名
うち、ボランティア体験 プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
		8				6	14名
うち、ボランティア体験 プログラムを企画運営した ボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一 般	計
						6	6名
活動の 様子など	<p>参加した児童は、思い思いの色や柄の折り紙で制作を行い、わからないことや、色合いについてボランティアへ質問したり、児童同士で話しながら活動した。児童からは、「パンダを家族にしたり、顔にこだわって作った。」「飾ってあるところを友達と見に行きたい。」との声が聞かれた。</p> <p>ふれあい会会員からは、「子ども達が楽しそうにしてくれて、個性的な作品ができて良かった。」との声があった。</p>						

※7月~9月に実施された活動のみを御報告ください。  
 ※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。  
 ※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	都農町社会福祉協議会
-------	------------

ボランティア体験プログラム名	花いっぱいになーれボランティア						
活動の目的やボランティア体験者の活動内容	町内の小学生や老人クラブ役員に募って、花植えのボランティアに参加して頂きました。町内各事業所、図書館、駅等に花を植えたプランターを配り、町民の方々に花を観て元気になってもらいたいというボランティア活動です。						活動分野
							自然・環境
実施日	令和5年 8月 4日(金) ~ 8月 4日(金)						
活動場所(建物名等)	都農町社会福祉協議会(老人福祉館・車庫倉庫)						
協力団体	三鍋種苗店、都農町老人クラブ連合会						
総数 (体験者数+協力者数)							22名
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
		4				9	13名
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
						9	9名
活動の様子など	<p>当日は日差しもあり、気温も高く熱中症に注意しながら活動を行った。今回も、三鍋種苗店の方に花の植え方の指導等をしていただいた。個人や親子で参加してくれた参加者、都農町老人クラブ会員の方々は、色合いや花の向きを考えながら、手際よく、楽しそうに活動していた。</p> <p>完成した60鉢のプランターは、都農町内の各事業所や図書館等に、観た方々が笑顔になってもらえるようにと、飾らせていただいた。花を飾っていただいた企業の担当者から、「昨年のプランターを再利用して花を植えて飾ってます。今年も楽しみにしてました。」とのコメントを頂きました。</p>						





※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。  
 ※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。  
 ※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	門川町社会福祉協議会
-------	------------

ボランティア体験プログラム名	夏休みボランティア体験						
活動の目的やボランティア体験者の活動内容	ボランティア活動をはじめのきっかけ作りとして、避難所にて使用される段ボールベッドの組み立てや、身近なもので出来る災害グッズの作成を体験する。						活動分野
							防災・安全
実施日	令和5年 8月 4日(金)						
活動場所(建物名等)	門川町福祉総合センター						
協力団体	町内小学校						
総 数 (体験者数+協力者数)							15名
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
		15					15名
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一 般	計
							0名
活動の様子など	<p>災害に関するクイズが出されると、安全な状況を考え積極的に答えていた。災害グッズ作成時には、新聞紙でスリッパ、食器を作成した。自身が作成した作品を実際に体験すると、「これ滑るから滑り止めを付けたらいいんじゃない？」等と、思考を巡らせていた。段ボールベッドの作成は、友人と協力して素早く組み立てを行った。その後非常食を体験し、災害時に起こる困りごとや防災について考えるきっかけになった。</p>						

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。  
 ※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。  
 ※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	門川町社会福祉協議会
-------	------------

ボランティア体験 プログラム名	クリーン作戦歩こう会						
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	門川町ボランティア連絡協議会の環境ボランティア活動と健康増進活動の一環としてクリーン作戦を行い、会員間および一般参加者との交流を図り、地域貢献活動をするを目的とする。						活動分野
							自然・環境
実施日	令和 5 年 8 月 20日 (日)						
活動場所 (建物名等)	門川海浜総合公園、公園周辺、草川小学校						
協力団体	ボランティア連絡協議会会員						
総 数 (体験者数+協力者数)							98名
うち、ボランティア体験 プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
			8			83	91名
うち、ボランティア体験 プログラムを企画運営した ボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一 般	計
						7	7名
活動の 様子など	<p>門川町納涼花火大会の翌日、早朝から多くの参加者が集まってくれた。海浜公園内だけではなく、花火の燃えかすが飛び散っている場所を見つけると、その場所から声上がり、全員で分担して広域を掃除することが出来た。</p> <p>燃えかすだけでなく、食後のゴミ等も落ちておりゴミ問題について考えるきっかけにもなった。他団体や企業等とのコミュニケーションも取りながら楽しく活動ができた。</p>						 

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。  
 ※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。  
 ※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。


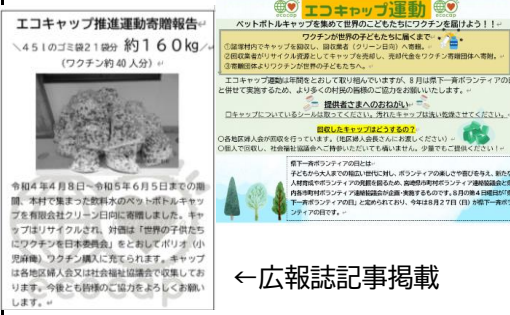


社 協 名	諸塚村社会連絡協議会
-------	------------

ボランティア体験プログラム名	古着リサイクルプログラム「フルクル」						
活動の目的やボランティア体験者の活動内容	認定NPO法人ブリッジアジアジャパンが取り組む古着リサイクルプログラム「フルクル」を支援するため、衣類等の仕分けや送料にあてる販売会（フリーマーケット）を実施した。						活動分野 国際交流・多文化共生
実施日	令和 5年 8月15日（火）～ 8月28日（月）						
活動場所（建物名等）	村内全域						
協力団体	諸塚村ボランティア連絡協議会、婦人連絡協議会						
総 数 （体験者数+協力者数）							190名
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
	4	8	0	0	0	135	147名
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一 般	計
	1	2	0	0	0	40	43名
活動の様子など	<p>運営ボランティア参加者には、古着回収、仕分け、販売、寄贈する古着の梱包作業の体験を行った。体験をとおして、ボランティア活動への関心と理解を深めることができた。</p> <p>来場者及びボランティア参加者からは、「掘り出し物があり、楽しかった」など4年ぶりの開催を喜ばれる声が多かった。</p> <p>フリーマーケット開催時に行ったアンケート結果から参加者全体の満足度も非常に高い結果となりました。</p>						

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。  
 ※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。  
 ※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	諸塚村社会連絡協議会
-------	------------

ボランティア体験 プログラム名	「エコキャップ運動」推進活動						
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	ペットボトルキャップの収集をとおして世界の子どもたちにワクチンを届ける活動。世界の現状に目を向け、子どもから大人まで誰もが身近に取り組み始めるボランティア活動として実施。全戸チラシを作成・配布し、キャップ収集の協力依頼を行う。						活動分野
							複数の分野
実施日	令和 5年 7月 1日(土)～ 8月31日(木)						
活動場所 (建物名等)	村内全域、諸塚村中央公民館						
協力団体	諸塚村ボランティア連絡協議会、諸塚村婦人連絡協議会						
総 数 (体験者数+協力者数)							149名
うち、ボランティア体験 プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
	3	8	4	4	0	116	135名
うち、ボランティア体験 プログラムを企画運営した ボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一 般	計
						14	14名
活動の 様子など	<p>実施期間中、村内の各家庭、当事者組織、事業所等において収集したキャップが社会福祉協議会に届けられた。協力からは、各世帯が家族ぐるみや地域ぐるみで、各地域の女性グループが組織的に取り組みなど、関心の高さが伺える声を聞くことができた。活動への参加者数や成果は本会広報誌において幅広く住民に周知した。収集したキャップはすべてリサイクル業者へ提供し、約160kgのキャップが40人分相当のワクチン費用に還元されることとなりました。今後も、住民や関係機関と協働し、この取組を継続的に推進していきたいです。</p>						 <p>↓全戸配布チラ</p>  <p>← 広報誌記事掲載</p>

- ※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。
- ※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。
- ※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名

椎葉村社会福祉協議会

ボランティア体験プログラム名		集まれ！！わらない大会						
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	【目的】児童との交流をとおして、高齢者の方の外出意欲を高めたい。特技・技術・伝統を児童に伝えていきたい。 【内容】わらないの作り方を児童に教える。また、技術を習得してもらう。						活動分野	
							複数の分野	
実施日	令和5年 8月 1日(火)							
活動場所 (建物名等)	椎葉村立大河内小学校							
協力団体	地区公民館(公民館長等)、集落支援員							
総数 (体験者数+協力者数)							38名	
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
		13				14	27名	
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
						11	11名	
活動の様子など	<p>①高齢者(ボランティア)より全体に向け「わらない」の基本についてのレクチャー</p> <p>②小グループ(4グループ※事前にグループ分け済み)に分かれ、それぞれ高齢者と児童と一緒に「わらない」を体験</p> <p>③ゲームをやってみよう！！「どれだけ長くつくれるかな」</p> 							

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。

※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。

※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名		美郷町社会福祉協議会					
ボランティア体験プログラム名		七夕ボランティア体験					
活動の目的やボランティア体験者の活動内容	一般の高齢者が行う七夕飾り作成に、子どもたちがボランティアとして参加し、短冊に自由な願い事を書いて飾り付けを行い世代間交流を図りながら体験を行うことで、子どもたちにボランティアで育つ思いやりの心を広げることを目的として実施する。						活動分野
							福祉
実施日	令和 5 年7月3日 (月)						
活動場所 (建物名等)	美郷町北郷児童クラブ、美郷町北郷保健センター						
協力団体	美郷町北郷赤十字奉仕団						
総 数 (体験者数+協力者数)							52名
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
		40				6	46名
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一 般	計
						6	6名
活動の様子など	<p>北郷赤十字奉仕団の役員に、七夕飾りの笹切りなどの準備を行ってもらった。児童クラブでも、2本の笹に子ども達が自分で作った七夕飾りを飾った。子どもたちは、笹への短冊や飾りつけに戸惑いながらも、一般ボランティアの方に付け方を教えていただきながら世代間交流が図られていた。また、作成中には、子ども達が相互に協力し、和気あいあいと七夕飾りを楽しんでいた。色とりどりの七夕飾りを、役場や郵便局等に寄贈したが、お客さんにも好評で大変喜ばれていた。自分たちの街に飾られている七夕飾りを見て、一生懸命作ったものが地域で役に立っているという充実感が感じられることやお互いに協力して作成することが相手を思いやる心が育つことにもつながり、意義のあるボランティア体験活動となった。</p>						 

- ※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。  
 ※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。  
 ※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名		美郷町社会福祉協議会					
ボランティア体験プログラム名		神門神社「夏祭り」前の清掃活動ボランティア体験					
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	神門神社の清掃活動を、中学生と高齢者が世代間を通して行うことで、神門神社の伝承活動につながり、清掃ボランティア活動の必要性を学ぶ機会となることを目的として実施する。						活動分野
							複数の分野
実施日	令和 5 年 7 月 1 4 日 ( 金 )						
活動場所 (建物名等)	神門神社境内						
協力団体	神門神社、美郷南学園、高齢者クラブ甞若会						
総 数 (体験者数+協力者数)							23 名
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
			9			12	21 名
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
						2	2 名
活動の様子など	<p>8時30分から約1時間の清掃活動を実施した。作業前のオリエンテーションでは、神門神社の宮司から「夏祭り」の由来や歴史についての講話があり、子どもたちは興味を持った様子で傾聴していた。高齢者クラブの方は生徒たちに声をかけながら清掃活動を実施し、終始和気あいあいとした雰囲気の中で活動が進んだ。清掃終了後、生徒たちはボランティア活動に対する充実感もあり、「参加してよかった。神社の清掃は必要。これからも参加したい。」という声が聞かれ、ボランティア活動の意義を学んだ様子だった。高齢者クラブの方からも「子どもたちと一緒にボランティア活動をすることは楽しい。これからもこのような形で活動できるととても嬉しい。」という声が聞かれた。</p>						

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。

※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。

※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名

高千穂町社会福祉協議会

ボランティア体験プログラム名		絵てがみを作成して元気を届けよう						
活動の目的やボランティア体験者の活動内容	子どもや地域住民との交流、福祉施設入所者との交流などが希薄化するなかで、同じ町に住む人と人が関わりを持つことで、交流を絶やさなことを目的に「絵てがみ」を作成し、高齢者施設へ届ける活動を実施した。						活動分野 複数の分野	
実施日	令和5年8月3日(木)							
活動場所(建物名等)	旭ヶ丘保育園 学童クラブ							
協力団体	高千穂町ボランティア連絡協議会 旭ヶ丘保育園							
総数 (体験者数+協力者数)							30名	
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
		23				3	26名	
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
						4	4名	
活動の様子など	<p>講師を招いて「絵てがみ」教室を開催した。季節の野菜、果物、植物を題材に思い思いに描いた。好きな動物や食べ物を描く子、施設のおじいちゃんおばあちゃんを想像して描く子などさまざまでした。毎年開催しており、1年生は初めてのことで最初はとまどいもあるようでしたが、講師の先生や周りのお友達と楽しそうに描いていました。出来上がった絵てがみは、「これからも元気に長生きしてほしい」と思いを込めて高齢者施設へ届けました。</p>							

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。

※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。

※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。


社 協 名

日之影町社会福祉協議会

ボランティア体験プログラム名		あなたの望み叶えます						
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	町内の独居高齢者の方たちの普段できない作業（軒とい掃除、粗大ごみ搬出など）をボランティアで解決！また当日は災害ボランティアセンターの運営訓練も兼ねて行いました。						活動分野	
							防災・安全	
実施日	令和 5 年 8 月 27 日（日） 8：30～12：00							
活動場所 (建物名等)	平底癒しの森運動公園							
協力団体	ボランティア連絡協議会							
総 数 (体験者数+協力者数)							74名	
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
			1			56	57名	
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一 般	計	
						17	17名	
活動の様子など	<p>コロナ感染予防のため5年ぶりの開催となったが、当日は多くのボランティアさんが集まってくれました。24件のニーズに対してもすべて終了し依頼された方たちからも大変喜ばれました。 写真は網戸そうじの様子</p> 							

- ※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。  
 ※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。  
 ※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。


社 協 名	五ヶ瀬町社会福祉協議会
-------	-------------

ボランティア体験プログラム名	夏ボランティア体験隊！（研修会）						
活動の目的やボランティア体験者の活動内容	7月中にオリエンテーションを実施後、8月中の夏休みに町内各福祉施設や保育園、いきいきサロン会場にてボランティア活動を体験することを目的に実施する。						活動分野
							福祉
実施日	令和5年7月26日（水）						
活動場所（建物名等）	福祉センター						
協力団体	行政（福祉課）						
総 数 （体験者数+協力者数）							14名
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
			14				14名
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一 般	計
							0名
活動の様子など	<p>※本来は事前研修の後に夏休み中に町内の福祉施設にてボランティア活動を行う計画だったが、町内でコロナ感染者が増加したため事前研修のみ実施。</p> <p>研修会では、高齢者について学ぶ機会として「高齢者の嚥下機能について知ろう」というテーマで栄養士さんより講話があり、加齢に伴う嚥下機能の低下や自分たちでお茶にとろみをつけて試飲したりして学んだ。</p> <p>後半は外に出て車いす体験を行い車いすの操作や相手の気持ちを考えて操作する重要性を学んだ。</p>						

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。  
 ※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。  
 ※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。



社 協 名	五ヶ瀬町社会福祉協議会
-------	-------------

ボランティア体験プログラム名	お弁当と笑顔を届けるボランティア						
活動の目的やボランティア体験者の活動内容	地域で高齢者を見守り、人と人とのつながりを大切にする ことや、食事の重要性を学ぶことを目的に配食サービスの 配達ボランティア体験をする。						活動分野
							福祉
実施日	令和 5 年 8 月 10 日 (木)						
活動場所 (建物名等)	福祉センター 町内配食サービス利用者宅						
協力団体	配食サービスいちご会 よこっちょ						
総 数 (体験者数+協力者数)							9 名
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
		8	1				9 名
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一 般	計
							0 名
活動の様子など	<p>配食サービスについて学んだ後、配食サービスの利用者さんへプレゼントするうちわ作りを行い、4グループに別れてそれぞれ配達ボランティアへ高齢者宅へお伺いした。子どもたちは元気にあいさつをして、高齢者の方は嬉しそうに子ども達を出迎えてくださり、お弁当と手作りのうちわを手渡して交流することができた。</p>						
							

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。  
 ※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。  
 ※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。